

# 岡山オルガノン代表者委員会

## 平成22年度

第1回 平成22年 5月21日(金)

第2回 平成22年 9月 6日(月)

第3回 平成23年 2月16日(水)



## 第1回岡山オルガノン代表者委員会

1 日 時 平成22年5月21日(金) 15:30~17:00

2 場 所 岡山理科大学 第9号館 3階 大会議室

3 参加者 岡山オルガノン代表者委員会委員、会計実務担当者

### 4 議題案

(1) 平成21年度連携取組事業評価報告書について 【資料1】

(2) 平成22年度の事業計画について 【資料2】

- ・平成22年度大学改革推進等補助金の交付決定(通知)
- ・共同事業同意書の締結について
- ・業務委託契約について
- ・年間活動スケジュールについて
- ・第1回大学連携シンポジウム開催(6月12日)について
- ・多地点接続装置の導入・設置について
- ・学習管理システムのユーザーIDライセンス保守料金の負担について

(3) 補助金の取扱いについて 【資料[要保存]】

- ・平成21年度実績報告書等提出(報告)
- ・補助金中間監査導入と会計経理担当者会議実施
- ・各種報告書類作成上の注意点

(4) その他

### 5 岡山オルガノンの共通計画(この他運営委員会やイベント等は随時開催)

- 2010/10末 中間報告書作成
- 2010/11/12 補助金中間監査:支出簿等提出締切
- 2010/12上旬 会計経理担当者会議
- 2011/02上旬 第2回岡山オルガノン代表者委員会開催
- 2011/03/14 第2回連携評価委員会

## 6 岡山オルガノン代表者委員会委員および出席者一覧

大 学	所属・職名	氏 名	出欠確認
岡山大学	教育開発センター教授	橋 本 勝	欠
	学務部学務企画課	田 渕 裕 基	出
岡山県立大学	デザイン学部教授	子野日 俊 夫	欠
	総務課企画広報班長	山 下 祥 嗣	代理
	総務課企画広報班・主事	吉 田 真智子	出
岡山学院大学	人間生活学部教授	友 近 健 一	欠
	人間生活学部教授	竹 原 良 記	代理
岡山商科大学	副学長、産学官連携センター長	大 崎 紘 一	出
	産学官連携センター主任	中 村 裕	出
岡山理科大学	情報科学科特担教授、学外連携推進室副室長	木 村 宏	出
	建築学科教授、情報処理センター長	竹 内 渉	出
	学外連携推進室課長	小 夜 美知子	出
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大 槻 剛 巳	出
	会計担当庶務係主任	川 西 礼 美	出
川崎医療福祉大学	副学長	安 藤 正 人	出
	庶務課課長	坪 井 裕 子	出
環太平洋大学	副学長	中 原 忠 男	出
	事務局次長	清 水 一 英	出
吉備国際大学	社会学部長教授	加 藤 健 次	欠
	事務局長	伊 藤 明	代理
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長、産業科学技術学部教授	小 山 悦 司	出
	経理部 主任	大 谷 明 弘	出
	教育研究支援センター次長	國 上 巧 一	出
くらしき作陽大学	音楽学部教授	加 藤 充 美	出
	教育企画部担当部長	松 下 訓 康	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科教授	澁 谷 俊 彦	欠
	事務局長	玉 木 誠	代理
	会計課	山 田 寛	出
就実大学	薬学部薬学科教授	小 山 眞 也	欠
	准教授	原 田 龍 宜	代理
	総務課主任	黒 瀬 知 子	出
中国学園大学	地域連携センター所長	飯 田 哲 司	出
	経理課事務	小 林 正 明	出
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加 藤 正 春	出
	財務部財務係長	佐 藤 紀 子	出
大学教育連携センター	コーディネーター	佐 藤 大 介	出
	事務補佐員	大 本 勝 子	出
	事務補佐員		
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠 山 和 大	出
	事務補佐員	小 林 祐 也	出
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢 延 里 織	出
	事務補佐員	長 内 路 子	出
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑 田 朋 美	欠
	事務補佐員	矢 部 慎 吾	出

# 第1回岡山オルガノン代表者委員会 議事録

日 時：平成22年5月21日（金）15：30～17：00

場 所：岡山理科大学 第9号館 3階 大会議室

出席者：4ページ別紙参照

議 題 案：

## 1. 前回議事録（案）の確認

前回議事録（案）の確認がなされ、原案どおり了承された。

## 2. 平成21年度連携取組事業評価報告書について

佐藤コーディネーターより、「資料1」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・平成21年度評価報告書の改善要求に基づき、「平成22年度補助事業実施方針」を策定した。
- ・センターおよび各オフィスの役割分担をもっと明確にした方がいいという指摘があったため、今後コーディネーター会議にて協議を行い、明文化していく。
- ・オルガノン事業の広報活動について、代表校として配布資料に記載しているような広報活動を行っているが、これ以外にも有効なPR方法があれば提案していただきたい。
- ・連携校独自のイベントや取組等において、オルガノンとして協力できるものについては共同開催、後援という形でPR活動の協力をするので、情報提供していただきたい。
- ・この報告書は、平成21年度連携評価委員会委員の方に配布する予定である。

## 3. 平成22年度の事業計画について

### （1）平成22年度大学改革推進等補助金の交付決定（通知）

佐藤コーディネーターより、「資料2-1～2-3」に基づき報告がなされた。

- ・補助対象経費の総額「69,646千円」、補助金交付決定額「69,646千円」である。

### （2）共同事業同意書の締結について

木村センター長より、「資料2-4～2-15」に基づき説明がなされ、原案どおり了承された。

- ・昨年度は15大学連名で共同事業契約書を作成したが、今年度は各連携大学が本学園に対して同意書を提出してもらう方式に変更させていただきたい。

### （3）業務委託契約について

佐藤コーディネーターより、「資料2-16～2-23」に基づき説明がなされ、原案どおり了承された。

- ・共同SD研修会の開催および実践的体験型プログラムの実施にあたり、山陽新聞社と大学コンソーシアム岡山に業務委託するための契約を交わしたい。

### （4）年間活動スケジュールについて

佐藤コーディネーターより、「資料2-24～2-27」に基づき報告がなされた。

- ・今年度については、できる限りこのスケジュールに従って活動していくので、積極的にご参加いただきたい。

#### (5) 第1回大学連携シンポジウム開催（6月12日）について

佐藤コーディネーターより、配布資料に基づき説明がなされた。

- ・「大学連携で地域を変える」を全体テーマに、基調講演とシンポジウムを行う。基調講演は両備グループ代表小嶋光信氏に、シンポジウムはファシリテーターに倉敷芸術科学大学小山悦司氏、パネリストに両備グループ代表小嶋光信氏、岡山県新庄村長笹野寛氏、岡山県立岡山一宮高等学校教諭森泰三氏、岡山大学経済学部学生で現倉敷小町の森山梨花氏にお願いする予定である。
- ・教職員や学生のみならず地域一般の方々にもご参加いただける企画にしており、施設も500人弱収容できる会場のため、学内をはじめ地域一般にも広く広報宣伝活動を行っていただきたい。

#### (6) 多地点接続装置の導入・設置について

木村センター長より、配布資料に基づき説明がなされ、了承された。

- ・現在のテレビ会議システムでは6拠点（カスケード接続では10拠点）までしか接続できないため、15大学すべてに接続できるよう多地点接続装置を導入する。今年度後期からの配信に間に合うように、少なくとも8月には設置して各大学で受・配信テスト等を行う予定である。
- ・高大連携の手段として、テレビ会議システムを経由する形で岡山情報ハイウェイに接続するか検討中である。ただ、その場合は相手方の高校にもテレビ会議システムが必要であるため、実情調査を早急に行い、方針決定を行いたい。
- ・維持費用について、高大連携を見据えて岡山情報ハイウェイに接続する場合、岡山情報ハイウェイの接続点である早島の施設に多地点接続装置を置いて機器管理を業者に任せることになり、年間22,705円を各大学にご負担いただくこととなる。15大学を中心としたテレビ会議システムを優先させる場合、岡山理科大学に多地点接続装置を置いてBフレッツに接続することとなり、各大学年間6,468円が必要となる。

#### (7) 学習管理システムのユーザーIDライセンス保守料金の負担について

佐藤コーディネーターより、以下の説明がなされ、了承された。

- ・前回の会議で、学習管理システムのユーザーライセンス料15,750円に関して各大学にご負担いただく旨の了承はいただいたが、各大学の費用負担額は決定していなかった。今年度後期よりVODを利用したe-Learning方式の授業が開始するので、それに向けて各大学の費用負担額を決定しないといけない。
- ・現段階でどの大学から何名受講するか等も把握できないため、今年度の各大学の費用負担額については均等に負担をお願いし、月々1,050円のご負担をいただきたい。
- ・今年度の支払い方法について、各大学の経理上支障がなければ、月払いではなく9月から3月までの7カ月分を一括でお願いしたいので、各大学でご検討いただき回答してほしい。
- ・次年度の費用負担額について、今年度後期の様子を見て新しい負担方式を提案させていただくかもしれない。また、400ユーザーライセンスについても、今後さらにふやしていく必要があると思うので、そのときには新たに費用負担をお願いすることになる。

#### 4. 補助金の取扱いについて

佐藤コーディネーターより、「資料 [要保存]」に基づき説明がなされ、了承された。

##### (1) 平成21年度実績報告書等提出（報告）

- ・平成 21 年度実績報告書等について、締切日に間に合う形で提出したが、その後、提出書類に不備が見つかり差し替えを行った。今後このようなことのないよう、代表校としての対応が必要ということで「大学改革等推進等補助金の取扱および各種報告書類作成上の注意点」を作成した。
- ・この資料は各連携大学の会計経理担当者に保存していただき、平成 22 年度の参考にしていただきたい。

##### (2) 補助金中間監査導入と会計経理担当者会議実施

- ・各種報告書類を作成する際、補助金の補助対象経費計上時の原則および留意点を再度ご確認いただきたい。
- ・補助金の適正な執行等について、代表校で事業年度の途中に確認作業（中間監査）を実施するので、必要書類の整理を以下の内容でお願いしたい。
  - 執行期間：平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 10 月 31 日
  - 提出書類：①大学改革推進等補助金支出簿（文部科学省様式）  
②補助対象経費別内訳表（文部科学省様式）  
③設備備品に関する確認票（センター独自様式）
  - 提出締切：平成 22 年 11 月 12 日（金）午後 5 時まで
  - 提出先：岡山オルガノン 大学教育連携センター
- ・中間監査での確認後、年度末の会計経理関連の報告書類を作成するための事前打ち合わせ会として、連携校の会計実務担当者による会計経理担当者会議をテレビ会議にて 12 月上旬～中旬に開催を予定している。
- ・平成 22 年度補助金の執行締め日について、実績報告時の書類作成に余裕を持たせるため、人件費や公共料金等の必要経費を除き平成 23 年 2 月 28 日（月）までとする。
- ・報告書類の作成の際は、それぞれ書類の内容および金額の整合性を取る必要があり、計算ミス、記入漏れ、記入ミス等がないことを提出前に複数人での確認および関連書類の再確認をお願いしたい。

##### (3) 各種報告書類作成上の注意点

- ・各種報告書類作成上の注意点（前年度間違いの多かったもの）を資料にまとめているので、参考にしていただきたい。

#### 5. その他

- ・次回の岡山オルガノン代表者委員会は、平成 23 年 2 月上旬に開催予定。

## 出席者一覧

大 学	所属・職名	氏 名	出欠確認
岡山大学	教育開発センター教授	橋 本 勝	欠
	学務部学務企画課	田 渕 裕 基	出
岡山県立大学	デザイン学部教授	子野日 俊 夫	欠
	総務課企画広報班長	山 下 祥 嗣	代理
	総務課企画広報班・主事	吉 田 真智子	出
岡山学院大学	人間生活学部教授	友 近 健 一	欠
	人間生活学部教授	竹 原 良 記	代理
岡山商科大学	副学長、産学官連携センター長	大 崎 紘 一	出
	産学官連携センター主任	中 村 裕	出
岡山理科大学	情報科学科特担教授、学外連携推進室副室長	木 村 宏	出
	建築学科教授、情報処理センター長	竹 内 渉	出
	学外連携推進室課長	小 夜 美知子	出
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大 槻 剛 巳	出
	会計担当庶務係主任	川 西 礼 美	出
川崎医療福祉大学	副学長	安 藤 正 人	出
	庶務課課長	坪 井 裕 子	出
環太平洋大学	副学長	中 原 忠 男	出
	事務局次長	清 水 一 英	出
吉備国際大学	社会学部長教授	加 藤 健 次	欠
	事務局長	伊 藤 明	代理
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長、産業科学技術学部教授	小 山 悦 司	出
	経理部 主任	大 谷 明 弘	出
	教育研究支援センター次長	國 上 巧 一	出
くらしき作陽大学	音楽学部教授	加 藤 充 美	出
	教育企画部担当部長	松 下 訓 康	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科教授	澁 谷 俊 彦	欠
	事務局長	玉 木 誠	代理
	会計課	山 田 寛	出
就実大学	薬学部薬学科教授	小 山 真 也	欠
	准教授	原 田 龍 宜	代理
	総務課主任	黒 瀬 知 子	出
中国学園大学	地域連携センター所長	飯 田 哲 司	出
	経理課事務	小 林 正 明	出
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加 藤 正 春	出
	財務部財務係長	佐 藤 紀 子	出
大学教育連携センター	コーディネーター	佐 藤 大 介	出
	事務補佐員	大 本 勝 子	出
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠 山 和 大	出
	事務補佐員	小 林 祐 也	出
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢 延 里 織	出
	事務補佐員	長 内 路 子	出
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑 田 朋 美	欠
	事務補佐員	矢 部 慎 吾	出



## 第2回岡山オルガノン代表者委員会

1 日 時 平成22年9月6日(月) 13:30~15:30

2 場 所 岡山理科大学 第27号館 2階 セミナー室

3 参加者 岡山オルガノン代表者委員会委員

### 4 議題案

(1) 岡山オルガノンの将来構想について(センター)

**報告**・【文部科学省】大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム選定取組における平成23年度以降実施計画に関する面接調査について

**提案**・大学コンソーシアム岡山に対する事業継承について

(2) 中間報告書の作成について(センター)

**依頼**・センター・オフィス設置大学長の記事について

・取組担当者による記事について

(3) 岡山オルガノン事業推進のための委員会に関する事項(センター)

**検討**・連携評価委員会委員の選定について

・運営委員会共通要項について

(4) e-Learningに関する事項

**報告**・テレビ会議システムの操作説明書について(商大オ)

・ライブ型遠隔授業の配信テスト・デモ配信の実施について(商大オ)

・多地点接続用サーバー一式の設置、導入、経費について(センター)

・学習管理システム管理者、ユーザーIDライセンス保守料金について(センター)

(5) 単位互換に関する事項

**検討**・ライブ型遠隔授業における時間割調整(岡大オ)

・出願方法・履修手続きに関する変更および簡素化に向けた検討(センター)

**報告**・単位互換科目履修学生の募集(岡大オ)

・VOD型e-Learningの平成22年後期開始、科目提供状況(センター)

・VODにおける著作権の取り扱いに関するガイドライン(センター)

(6) キャリア形成教育の支援について (中大オ)

(7) エコナイトの報告 (商大オ)

(8) その他 (センター)

- ・岡山オルガノン通信の発行
- ・各種イベントへの学生・教職員の参加呼びかけ

5 岡山オルガノンの活動計画 (この他運営委員会やイベント等は随時開催)

- 2010/09/10 桃太郎フォーラム XIII 《岡山大学》
- 2010/10/02 地域活性化シンポジウム 《岡山商科大学》
- 2010/10 末 中間報告書作成
- 2010/11/12 補助金中間監査：支出簿等提出締切
- 2010/12 上旬 会計経理担当者会議
- 2010/12/04 実践マナー&ビジネスマインド講座
- 2010/12/25 社会人基礎力速習講演会 《中国学園大学》
- 2011/01/09 第2回岡山オルガノンFD・SDシンポジウム 《岡山大学》
- 2011/??/?? 遠隔授業に関するシンポジウム
- 2011/02 上旬 第3回岡山オルガノン代表者委員会開催
- 2011/02/28 補助金執行締日 (人件費、公共料金等必要な経費は除く)
- 2011/03/14 第2回連携評価委員会

## 6 岡山オルガノン代表者委員会委員および出席者一覧

大学名	所属・職名	氏名	出欠
岡山大学	教育開発センター教授	橋本 勝	出
岡山県立大学	デザイン学部教授	子野日 俊夫	出
	教務班・主任	糸島 英美	陪席
	企画広報班・主事	吉田 真智子	陪席
岡山学院大学	人間生活学部教授	友近 健一	欠
岡山商科大学	副学長、産学官連携センター長	大崎 紘一	出
	産学官連携センター主任	中村 裕	出
岡山理科大学	情報科学科特担教授、学外連携推進室副室長	木村 宏	出
	建築学科教授、情報処理センター長	竹内 渉	出
	学外連携推進室課長	小夜 美知子	出
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大槻 剛巳	出
川崎医療福祉大学	副学長	安藤 正人	出
環太平洋大学	副学長	中原 忠男	出
吉備国際大学	社会学部長教授	加藤 健次	出
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長、産業科学技術学部教授	小山 悦司	出
くらしき作陽大学	音楽学部教授	加藤 充美	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科教授	澁谷 俊彦	出
就実大学	薬学部薬学科教授	小山 眞也	出
中国学園大学	情報ビジネス学科教授、地域連携センター所長	飯田 哲司	出
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加藤 正春	欠
大学教育連携センター	コーディネーター	佐藤 大介	出
	e-Learning 専門スタッフ	岡戸 真理子	出
	事務補佐員	大本 勝子	出
	事務補佐員	本田 絢也	出
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠山 和大	出
	事務補佐員	小林 祐也	出
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢延 里織	出
	事務補佐員	長内 路子	出
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑田 朋美	
	事務補佐員	矢部 慎吾	出

## 第2回岡山オルガノン代表者委員会 議事録

日 時：平成22年9月6日（月）13：30～15：30

場 所：岡山理科大学 第27号館 2階 セミナー室

出席者：6ページ別紙参照

議題案：

### 1. 新規職員の紹介

e-Learning 専門スタッフとして岡戸真理子氏を紹介した。VOD の編集や学習管理システムのヘルプデスクなどを担当する。続いて、事務補佐員として本田絢也氏、長内路子氏を紹介した。

### 2. 前回議事録（案）の確認

前回議事録（案）の確認がなされ、原案どおり了承された。

### 3. 岡山オルガノンの将来構想について

木村センター長より、「資料1」に基づき説明がなされ、原案どおり了承された。

#### （1）【文部科学省】大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム選定取組における平成23年度以降実施計画に関する面接調査について

- ・平成23年度以降の実施計画について文部科学省が面接調査を行う予定であったが、政局等の関係により面接については中止となった。ただし、9月以降に必要なに応じて実地調査をする可能性はあるとのことである。
- ・資料1の内容については、連携校や大学コンソーシアム岡山の了承を事前に得たものではなく、代表校の見解を示している旨書類にも記載し、今後具体的な検討に入る必要がある。

#### （2）大学コンソーシアム岡山に対する事業継承について

- ・「資料1-21・22」は、岡山オルガノン事業の将来構想について原案を作成し、9月3日に開催された大学コンソーシアム岡山の運営委員会に提出した資料である。資料の右列は、24年度以降の大学コンソーシアム岡山と岡山オルガノンの事業統合案で、太字で囲んでいる部分が岡山オルガノン事業に係る箇所である。
- ・次回の大学コンソーシアム岡山の代表者会議で、この事業統合案を提案する予定である。
- ・概算額として継承後必要となる年間固定経費について説明があった。
- ・岡山オルガノンの事業継承について今後の具体的な検討を行っていくため、9月中には将来構想委員会の設置を行いたい。
- ・将来構想委員会のメンバー構成として、岡山オルガノンのセンターおよびオフィス代表者とコーディネーター、大学コンソーシアム岡山の各事業部リーダーまたは運営委員等、岡山県や経済団体等による有識者等を考えている。委員の人選については、今後センターおよび大学コンソーシアム岡山で協議を行う予定である。
- ・大槻委員より、美作大学が参加すると新たなインフラ整備が必要になると思うが、その

費用はこの資料に含まれているのかとの質問があり、木村センター長より、現在計上していない、美作大学がライブ型遠隔授業に参加する場合、テレビ会議システムの導入やBフレッツの加入が必要になるため、今後美作大学とVODを用いた遠隔授業への参加を中心に交渉を開始していく予定である。

#### 4. 中間報告書の作成について

佐藤コーディネーターより、「資料2」に基づき説明がなされ、原案の通り、了承された。

##### (1) センター・オフィス設置大学長の記事について

- ・センター・オフィス設置大学の学長先生に「『岡山オルガノン』の構築」事業に対する考えについて記事を依頼する。
- ・正式な依頼文書は本委員会終了後に学長宛てに郵送する。

##### (2) 取組担当者による記事について

- ・取組担当者に「各連携校の取組」についての記事を依頼したい。記事には文字だけでなく、写真などもあれば含めてもらいたい。
- ・中間報告書は10月末の完成を目指している。中間報告書の作成により、岡山オルガノンの取組を広く広報するとともに、これまでの取り組みを連携校等で広く共有することを目指す。
- ・文部科学省より印刷物作成の経費を削減するよう指導を受けているので、冊子の作成は最小限にし、CD-ROMやホームページで広報を行う予定である。
- ・橋本委員より、タイムスケジュール的に原稿の締切期限はいつごろになるのかとの質問があり、佐藤コーディネーターより9月末ごろを考えているとの回答がなされた。

#### 5. 岡山オルガノン事業推進のための委員会に関する事項

##### (1) 連携評価委員会委員の選定について

木村センター長より、「資料3」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・平成22年度の連携評価委員会委員の選定について、構成大学代表者は学長先生にお願いしたい。
- ・外部委員として、連携組織である山陽新聞社、岡山経済同友会への依頼も行う予定である。
- ・第1回大学連携シンポジウムで講演して下さった両備グループ代表小嶋光信氏にもお願いしたい旨の提案があり、了承された。

##### (2) 運営委員会共通要項について

佐藤コーディネーターより、「資料3」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・運営委員会の共通要項に従った運営を行っていくため、各種運営委員の選定等について変更があった場合の対応をお願いしたい。
- ・運営委員会共通要項にない規定等については、必要に応じて各運営委員会で定める。
- ・運営委員会共通要項の内容について、各大学にセンターよりご確認のメールを送付するので、学内でご検討いただき早急に決定したい。
- ・橋本委員より、「テレビ会議システムを可能な限り活用する」というような文言を追加してはどうかとの意見が出され、了承された。

## 6. e-Learningに関する事項

### (1) テレビ会議システムの操作説明書について

大崎岡山商科大学オフィス室長より、配布資料「HD ビデオ会議システム操作説明書」に基づき説明がなされた。

- ・テレビ会議システムのこれまでの使用方法から、岡山商科大学オフィスにて独自に操作説明書を作成した。
- ・多地点接続装置 (MCU) を含めた説明書については、近々センターより発行する予定である。

### (2) ライブ型遠隔授業の配信テスト・デモ配信の実施について

大崎岡山商科大学オフィス室長より、配布資料に基づき報告がなされた。

- ・今年の6月にテレビ会議システムを使用したライブ型遠隔授業の受・配信テストを複数回行い、その際に寄せられた問題点等の対策を検討した。
- ・平成23年度ライブ型遠隔講義科目一覧について説明があった。なお、平成23年度ライブ科目提供についてご提出をいただいていない大学には、予定でよいので早急にご返答いただきたい旨の依頼があった。
- ・竹内委員より、岡山理科大学が提供する「岡山学」について、担当教員と曜日・時限は未定、履修年次は1年～4年、単位数は2単位、開講期は後期である旨の発言がなされた。

### (3) 多地点接続用サーバー一式の設置、導入、経費について

佐藤コーディネーターより、「資料4」に基づき報告がなされた。

- ・多地点接続用サーバー (MCU) については、岡山情報ハイウェイのデータセンターに設置せず、岡山理科大学に設置した。また、B フレッツ回線を MCU 専用につなぐ必要もなくなった。
- ・多地点接続用サーバーの設置経費およびランニング経費については、補助期間中は補助金より支出するが、補助期間終了後は6,278円×12ヶ月の75,336円が年間必要となる。
- ・フレッツ・グループの利用料金は、10月1日以降に倉敷芸術科学大学が2キャンパスで使用するため16拠点で負担することになり、1大学あたり3,675円となる。

### (4) 学習管理システム管理業者、ユーザーIDライセンス保守料金について

木村センター長より、「資料4」に基づき報告がなされた。

- ・学習管理システムを管理していたGRパートナーズが7月30日で急きょ解散となったため、グループ企業である三洋コンピュータ株式会社が、学習管理システムの管理業者となった。
- ・業者変更の手続きは代表校で行っており、これによるVOD型e-Learningへの影響はない。
- ・ユーザーIDライセンス保守料金については、平成22年度については学生の人数に応じた従量制ではなく、連携校均等割りとした旨の提案があり、了承された。
- ・ユーザーIDライセンス保守料金については、ユーザー数に応じた利用料金が発生してい

るが、運営上定額制などに変更する等料金については業者と交渉していきたい。

## 7. 単位互換に関する事項

### (1) ライブ型遠隔授業における時間割調整

遠山コーディネーターより、配布資料に基づき報告がなされた。

- ・ライブ型遠隔授業における授業時間について3案提示があり、現在学士課程教育連携委員会、双方向コンテンツ委員会を通じて各大学の意見をまとめている。来年度に向けて検討を続けていく。

### (2) 出願方法・履修手続きに関する変更および簡素化に向けた検討

佐藤コーディネーターより説明がなされた。

- ・現行の出願方法および履修手続きについて、一部煩雑な部分があり、今後教務担当者等と調整を図りながら、手続きの簡略化に向けた検討を行いたいとの提案があり了承された。

### (3) 単位互換科目履修学生の募集

遠山コーディネーターより、配布資料「2010年度単位互換履修生募集要項」に基づき報告がなされた。

- ・単位互換科目履修生の募集要項について、後期よりVOD科目が追加となるため、修正を行い、連携校の事務担当者および学士課程教育連携委員に確認をしてもらい、了承されたので、現在の受付期間では本募集要項が使用されている。
- ・各科目の申込最終期限は、倉敷芸術科学大学が9月27日、岡山商科大学が9月30日、VOD3科目が10月8日となった。

### (4) VOD型 e-Learning の平成22年後期開始、科目提供状況

佐藤コーディネーターより、「資料5」に基づき報告がなされた。

- ・VOD型 e-Learning で配信される科目について連携校より募集を行い、18科目の提供予定となっている。ただし、24年度提供科目については、23年度への前倒しを個別に依頼したい。また、一度撮影したコンテンツについては2～3年は使用したいと考えている。
- ・VOD科目は今年度後期より開始されるので、履修学生の確保に努めてほしい。特に e-Learning 用パソコンを購入した大学については、学生への広報活動をより積極的に行ってほしい。

### (5) VODにおける著作権の取り扱いに関するガイドライン

佐藤コーディネーターより、説明がなされた。

- ・VODにおける著作権ガイドラインを現在作成中であることを報告した。
- ・9月1日開催した e-Learning 著作権セミナー講師の尾崎史郎氏の指導も仰ぎながら、なるべく早急に原案を整備し、e-Learning 運営委員会で審議したい。

## 8. キャリア形成教育の支援について

飯田中国学園大学オフィス代表より、配布資料「資料社会人基礎力養成のための取り組み」に基づき説明がなされた。

- ・キャリア指導チームを通じて、企業や高校、大学へのキャリア指導を行っているが、来年度以降については大学での授業をもっと増やしていきたいと考えている。

- ・大学コンソーシアム岡山への委託事業である「卒業直前集中セミナー『“社会人基礎力”活性化シンポジウム』」について説明した。12月25日、中国学園大学で開催予定である。
- ・大学コンソーシアム岡山への委託事業である「実践マナー&ビジネスマインド集中講座」について説明した。会場は未定であるが、12月4日に開催予定である。
- ・6月22日に「第1回社会人基礎力養成連携委員会」を開催した。授業内容を知りたいという提案が多かったため、現在行っている授業を撮影して準備している段階である。

## 9. エコナイトの報告

大崎岡山商科大学オフィス室長より、配布資料「エコナイト実施報告書」に基づき報告がなされた。

- ・七夕エコナイトの各大学からの報告をまとめた報告書を作成した。
- ・ペガサスキャンドル(株)からいただいたエコキャンドルを来年度も使用したい。
- ・本日地域活性化シンポジウムのチラシを各大学に500枚準備しているため、配布していただき参加を呼びかけてほしい旨の依頼がなされた。
- ・地域活性化シンポジウムは、テレビ会議システムを利用してサテライト会場に配信する予定である。現在、サテライト会場には倉敷芸術科学大学、くらしき作陽大学、山陽学園大学の3大学を予定している。
- ・澁谷委員より、サテライト会場にも一般の方々が参加してよいのかとの質問があり、大崎委員より、サテライト会場についても一般参加者のご対応をお願いしたい旨の回答がなされた。

## 10. その他

### (1) 岡山オルガノン通信の発行

佐藤コーディネーターより報告がなされた。

- ・今年度6月より岡山オルガノンの取り組みについてより広く知ってもらうために、岡山オルガノン通信というメールマガジンの発行を開始した。ホームページでも閲覧できるので、各大学の関係者へも是非案内してほしい。

### (2) 各種イベントへの学生・教職員の参加呼びかけ

木村センター長より説明がなされた。

- ・岡山オルガノンでは多様なイベントが開催されており、教職員や学生により多く参加してもらいたいとの要請があった。
- ・橋本委員より、9月4日、5日にi\*See2010が開催され、全国から29大学、102名の参加があった。次年度以降もご参加、ご協力いただきたい旨の発言がなされた。併せて、9月10日に桃太郎フォーラム XIII が開催されるので、ぜひ参加いただきたい旨の発言がなされた。

## 出席者一覧

大学名	所属・職名	氏名	出欠
岡山大学	教育開発センター教授	橋本 勝	出
岡山県立大学	デザイン学部教授	子野日 俊夫	出
	教務班・主任	糸島 英美	陪席
	企画広報班・主事	吉田 真智子	陪席
岡山学院大学	人間生活学部教授	友近 健一	欠
岡山商科大学	副学長、産学官連携センター長	大崎 紘一	出
	産学官連携センター主任	中村 裕	陪席
岡山理科大学	情報科学科特担教授、学外連携推進室副室長	木村 宏	出
	建築学科教授、情報処理センター長	竹内 渉	出
	学外連携推進室課長	小夜 美知子	陪席
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大槻 剛己	出
川崎医療福祉大学	副学長	安藤 正人	出
環太平洋大学	副学長	中原 忠男	出
吉備国際大学	社会学部長教授	加藤 健次	出
	事務局長	伊藤 明	陪席
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長、産業科学技術学部教授	小山 悦司	出
くらしき作陽大学	音楽学部教授	加藤 充美	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科教授	澁谷 俊彦	出
就実大学	薬学部薬学科教授	小山 眞也	出
中国学園大学	情報ビジネス学科教授、地域連携センター所長	飯田 哲司	出
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加藤 正春	欠
大学教育連携センター	コーディネーター	佐藤 大介	出
	e-Learning 専門スタッフ	岡戸 真理子	出
	事務補佐員	大本 勝子	出
	事務補佐員	本田 絢也	出
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠山 和大	出
	事務補佐員	小林 祐也	出
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢延 里織	出
	事務補佐員	長内 路子	出
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑田 朋美	欠
	事務補佐員	矢部 慎吾	出



## 第3回岡山オルガノン代表者委員会

1 日 時 平成23年2月16日(水) 15:00～17:00

2 場 所 岡山理科大学 第27号館 2階 セミナー室

3 参 加 者 岡山オルガノン代表者委員会委員

### 4 報告事項

(1) 平成22年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」ポスター出展

(2) 行政刷新会議～政府予算案～文部科学省による平成21年度「大学教育充実のための戦略的  
大学連携支援プログラム」選定取組にかかる面接調査

2010/11/18 事業仕分け(事前に遠隔授業機器の使用頻度やプログラムの対象者数について調査有)

2010/11/22 連携自治体の連絡先について照会

2010/11/30 面接調査の日程照会(面接調査調書提出)

2010/12/27 平成23年度予算政府案について事務連絡

2011/02/09 面接調査実施

### 5 議題案

(1) 平成22年度の事業実績について

- ・平成22年度大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)実績報告書(案)
- ・補助金執行および関連書類作成

(2) 連携評価委員会について

- ・委員会の進行方法、配布資料
- ・連携評価委員への対応

(3) 平成23年度調書作成および事業実施計画について

- ・平成23年度大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)調書(案)

(4) 将来構想委員会について

(5) その他の事項について

- ・平成23年度共同事業同意書について

6 岡山オルガノンの活動計画 (この他運営委員会やイベント等は随時開催)

- 2011/02/18 H23 年度補助金経費調書提出締切 (2/4 依頼)  
 2011/02/28 補助金執行締日 (人件費、公共料金等必要な経費は除く)  
 2011/03 上旬 【文部科学省】 H23 年度補助金調書提出  
 2011/03/14 第2回連携評価委員会  
 2011/03/15 H22 年度実績報告書提出締切 (2/20 依頼予定)  
 2011/04 【文部科学省】 実績報告書関連書類提出

7 岡山オルガノン代表者委員会委員および出席者一覧

大学名	所属・職名	氏名	出欠
岡山大学	教育開発センター教授	橋本 勝	出
岡山県立大学	全学教育研究機構長・デザイン学部教授	子野日 俊夫	出
岡山学院大学	人間生活学部教授	友近 健一	出
岡山商科大学	副学長、産学官連携センター長	大崎 紘一	出
	産学官連携センター主任	中村 裕	出
岡山理科大学	情報科学科特担教授、学外連携推進室副室長	木村 宏	出
	建築学科教授、情報処理センター長	竹内 渉	出
	学外連携推進室次長	金子 典正	出
	学外連携推進室課長	小夜 美知子	出
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大槻 剛巳	出
川崎医療福祉大学	副学長	安藤 正人	出
環太平洋大学	副学長	中原 忠男	欠
	事務局次長	大口 和之	代理
吉備国際大学	社会学部長教授	加藤 健次	出
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長、産業科学技術学部教授	小山 悦司	欠
	教育研究支援センター次長	國上 巧一	代理
くらしき作陽大学	音楽学部教授	加藤 充美	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科教授	澁谷 俊彦	欠
就実大学	薬学部薬学科教授	小山 眞也	出
中国学園大学	情報ビジネス学科教授、地域連携センター所長	飯田 哲司	出
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加藤 正春	出
大学教育連携センター	コーディネーター	佐藤 大介	出
	e-Learning 専門スタッフ	岡戸 真理子	出
	事務補佐員	大本 勝子	出
	事務補佐員	本田 絢也	出
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠山 和夫	出
	事務補佐員	小林 祐也	出
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢延 里織	出
	事務補佐員	長内 路子	出
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑田 朋美	出
	事務補佐員	矢部 慎吾	欠

## 第3回岡山オルガノン代表者委員会 議事録

日 時：平成23年2月16日（水）15：00～16：45

場 所：岡山理科大学 第27号館 2階 セミナー室

出席者：5ページ別紙参照

議題案：

### 1. 前回議事録（案）の確認

前回議事録（案）の確認がなされ、原案どおり了承された。

### 2. 平成22年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」ポスター出展

木村センター長より、「資料1」に基づき報告がなされた。

- ・1月24日、25日に秋葉原で開催された平成22年度大学教育改革プログラム合同フォーラムに参加した。24日に岡山オルガノンのポスター展示を行い、全国の参加者にPRするとともに他のGPの情報収集に努めた。準備していた資料を約120部配布することができた。

### 3. 行政刷新会議～政府予算案～文部科学省による平成21年度「大学教育充実のための戦略的 大学連携支援プログラム」選定取組にかかる面接調査

木村センター長より、「資料2」に基づき報告がなされた。

- ・平成23年2月9日に実施された文部科学省面接調査の経緯について、以下の報告がなされた。
  - 平成22年6月に文部科学省より平成23年度以降実施計画に関する面接調査の通知があり、面接調査の参考資料として進捗状況および来年度以降の事業実施計画に関する調書を提出したが、中止になった。
  - 11月18日に開かれた行政刷新会議の事業仕分けにおいて、大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラムは国の事業として廃止という判定が下された。
  - 11月30日に文部科学省より中止になっていた戦略GPの面接調査を実施するとの連絡があり、それに伴う調書等の提出を行った。
  - 12月に予算政府案の事務連絡があり、戦略GPの補助金が継続される方向で進んでいることが判明した。
  - 平成23年2月9日に面接調査が行われた。
  - 提出書類の事業進捗状況において、各計画を自己評価する箇所があったためセンターおよび各オフィスでそれぞれ評価し、それらの平均点を出して文部科学省に報告した。全体として3から4が多かったため、当初の目的に沿った形で事業が進行しているとの評価ができたと考えている。
  - 提出書類の平成23年度調書に予算計上している設備備品は、ストリーミングサーバー一式とライブ型遠隔授業表示装置一式の2点である。ストリーミングサーバーはテレビ会議システムのバックアップのために使用するものである。

- ・面接調査の内容について、以下の報告がなされた。
  - 調査だけでは実情が理解しがたい部分もあるため、各事業の担当者と対面で報告を受け、各事業への取り組み姿勢や実情を確認する目的で実施されたことがうかがえた。
  - 面接調査について、まずこちらから 25 分程度の概要説明を行い、その後 30 分程度の質疑応答を行った。質問内容としては、大学コンソーシアム岡山との関連について、ライブ型および VOD 型遠隔教育について、岡山経済同友会や山陽新聞社などの外部組織との関係について等が中心であった。

#### 4. 平成22年度の事業実績について

##### (1) 平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）実績報告書（案）

- 佐藤コーディネーターより、「資料3-1～3-5」に基づき説明がなされた。
- 遠山コーディネーターより、「資料3-5～3-6」に基づき説明がなされた。
- 飯田中国学園大学オフィス代表より、「資料3-7」に基づき説明がなされた。
- 大崎岡山商科大学オフィス室長より、「資料3-8～3-9」に基づき説明がなされた。
- ・山陽新聞に掲載予定のオルガノン PR 広告をお手元に配布しているので、ご意見等があれば商科大学オフィスまで連絡をいただきたい。
  - ・文部科学省に提出する実績報告書（案）について、センターおよび各オフィスで作成して連携大学に送付するので、ご一読いただき、意見・訂正等があればセンターまで連絡をいただきたい。

##### (2) 補助金執行および関連書類作成

- 佐藤コーディネーターより、「資料3-11～3-22」に基づき説明がなされ、了承された。
- ・前年度は実績報告書提出時に色々不備が見つかったため、それを未然に防ぐための事前打合せとして12月に会計経理担当者会議を開催し、「大学改革等推進等補助金の取扱および各種報告書類作成上の注意点」の資料を配布した。1月に文部科学省より平成21年度実績報告書の修正・確認事項についての依頼が来たので、連携校の方々にも協力いただいて書類を作成し、提出した。その際に文部科学省から指摘された点についても資料に追記し、最終版という形で既に連携校の事務担当者および会計担当者には配布しているが、取組担当者の方々にもご確認いただきたい。
  - ・今年度補助金執行について、既に事務担当者および会計担当者は連絡しているが、締め日を2月28日（月）としている。
  - ・実績報告書の作成について、2月20日頃にセンターより依頼を行うが、提出期限は3月15日（火）を予定している。文部科学省への提出は4月だが、センターで連携校の提出書類を再度確認しようと考えているため、早期の対応をお願いしたい。

#### 5. 連携評価委員会について

佐藤コーディネーターより、「資料4」に基づき説明がなされ、了承された。

##### (1) 委員会の進行方法、配布資料

- ・3月14日（月）の13時から15時、岡山理科大学にて第2回岡山オルガノン連携評価委員会を開催する。
- ・第2回連携評価委員会の進行方法について、昨年度委員会の反省を踏まえて検討を行っ

た。まず木村センター長より本連携取組の事業説明を行い、次にセンターおよび各オフィスから 20 分程度でプレゼンテーション形式の報告を行う。その際 10 分から 15 分程度の説明、5 分程度の質疑応答の時間を設ける予定である。最後に木村センター長より平成 23 年度連携取組の計画について説明を行う。

- ・連携評価委員会で配布する資料については「資料 4」のとおりである。

## (2) 連携評価委員への対応

- ・連携評価委員は連携大学学長に委嘱しているため、オルガノン事業の詳細な取組内容等については取組担当者より事前にご説明願いたい。委員会出席者については「資料 4 - 2」に記載しているとおりである。

## 6. 平成23年度調書作成および事業実施計画について

佐藤コーディネーターより、「資料 5」に基づき説明がなされ、了承された。

### (1) 平成23年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）調書（案）

- ・「資料 5 - 2」に 18 項目の本年度補助事業実施計画を記載しているが、次年度は最終年度となるため、新たに「将来構想委員会の開催」、「事業報告会（仮称）の開催」を追加している。
- ・イベントに関して、6 月の地域活性化シンポジウムは、今年度岡山理科大学で開催した大学連携シンポジウムと合同開催する予定である。まだ未決定であるが遠隔授業シンポジウムと共同 FD・SD 実施報告会を合同で開催するなど、連携校の方々が参加しやすいイベントの回数を減らす方向で検討を行っている。また、先日連携校より現段階の学年暦を送っていただいたが、なるべく各大学の行事と重ならないようにイベントの開催日時等の調整を図っていく。
- ・「資料 5 - 2 ~ 5 - 4」について、それぞれの計画を所掌しているセンターおよびオフィスが作成しているが、来年度はこのような形での事業計画を考えているので、ご確認いただきたい。
- ・「資料 5 - 5」以降の補助対象経費の明細については、文部科学省の面接調査の際に提出したのと同じ資料を今回は添付しているが、現在連携校へ来年度の必要経費について 2 月 18 日（金）までに回答いただくよう、センターよりメールで依頼している。
- ・メールでも記載させていただいたが、来年度は設備備品への投資を控えるようお願いしたい。来年度必要とされる経費としては、テレビ会議システムおよび多地点接続装置の操作を行う TA の人件費、ライブ授業の資料を印刷するためのコピー用紙、インク等の消耗品費、単位互換にかかる履修願・試験問題・成績通知等を各大学へ郵送するための通信運搬費の 3 点ほどが考えられるが、各大学で検討いただき、センターまで回答してほしい。
- ・設備備品の購入を希望される場合は「資料 5 - 9」の設備備品費補足表の記載も必要となるため、設備備品の目的・用途・利用頻度等についても明確な計画を立てて購入してほしい。

## 7. 将来構想委員会について

木村センター長より、「資料 6」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・1月26日（水）に岡山オルガノン将来構想委員会の準備会議を行った。また本日、代表者委員会終了後に第1回目の委員会を開催する予定である。
- ・委員は、岡山オルガノンと大学コンソーシアム岡山の両事業に携わっている先生を中心に人選を行い、「資料6-2」のとおり決定させていただいた。美作大学は未定となっているが、大学コンソーシアム岡山の参加校であるため、参加いただくよう現在打診を行っている。
- ・「資料6-5・6-6」は大学コンソーシアム岡山第10回代表者会議で提示した資料で、大学コンソーシアム岡山とオルガノンの事業統合案である。これをベースにして将来構想委員会で具体的な事業の統廃合および所掌事業部等について話し合い、代表者委員会です承を得た上で大学コンソーシアム岡山に提言していく計画である。
- ・将来構想委員会の運営期間は9月末を目途に考えており、月1回程度開催していく予定である。

## 8. その他の事項について

### (1) 平成23年度共同事業同意書について

佐藤コーディネーターより、「資料7」に基づき説明がなされ、原案の通り了承された。

- ・今年度春に平成22年度共同事業同意書を結ばせていただいたが、平成23年度も同様の形で締結させていただきたい。
- ・平成23年度同意書案の「資料7-1～7-5」については、今年度同意書に記載してある「平成22年度」を「平成23年度」に、「平成23年度」を「平成24年度」の表記に変更したのみである。「資料7-6・7-8～7-10」に関しては、文部科学省へ提出する平成23年度補助金調書が確定次第、追記する。「資料7-7」について、担当者の変更があればセンターまでお知らせいただきたい。

### (2) その他

- ・センターの佐藤コーディネーターが平成23年3月31日付けで退職する旨の報告がなされた。

## 出席者一覧

大学名	所属・職名	氏名	出欠
岡山大学	教育開発センター教授	橋本 勝	出
岡山県立大学	全学教育研究機構長・デザイン学部教授	子野日 俊夫	出
岡山学院大学	人間生活学部教授	友近 健一	出
岡山商科大学	副学長、産学官連携センター長	大崎 紘一	出
	産学官連携センター主任	中村 裕	出
岡山理科大学	情報科学科特担教授、学外連携推進室副室長	木村 宏	出
	建築学科教授、情報処理センター長	竹内 渉	出
	学外連携推進室次長	金子 典正	出
	学外連携推進室課長	小夜 美知子	出
川崎医科大学	学長補佐、衛生学教授	大槻 剛巳	出
川崎医療福祉大学	副学長	安藤 正人	出
環太平洋大学	副学長	中原 忠男	欠
	事務局次長	大口 和之	代理
吉備国際大学	社会学部長教授	加藤 健次	出
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長、産業科学技術学部教授	小山 悦司	欠
	教育研究支援センター次長	國上 巧一	代理
くらしき作陽大学	音楽学部教授	加藤 充美	出
山陽学園大学	総合人間学部生活心理学科教授	澁谷 俊彦	欠
就実大学	薬学部薬学科教授	小山 眞也	出
中国学園大学	情報ビジネス学科教授、地域連携センター所長	飯田 哲司	出
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加藤 正春	出
大学教育連携センター	コーディネーター	佐藤 大介	出
	e-Learning 専門スタッフ	岡戸 真理子	出
	事務補佐員	大本 勝子	出
	事務補佐員	本田 絢也	出
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠山 和大	出
	事務補佐員	小林 祐也	出
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢延 里織	出
	事務補佐員	長内 路子	出
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑田 朋美	出
	事務補佐員	矢部 慎吾	欠